

## SHIBUYAで仏教美術-奈良国立博物館コレクションより

Buddhist Art in SHIBUYA -Masterpieces from the Nara National Museum

2022年4月9日(土)～5月29日(日)

前期:4月9日(土)～5月8日(日) 後期:5月10日(火)～29日(日) (会期中展示替あり)

※本展の出陳作品はすべて奈良国立博物館所蔵で、画像を掲載していただく場合は、キャプション末尾に「画像提供:奈良国立博物館」とご記載ください。



やくしによらいざぞう

① 《薬師如来坐像》銅造 奈良時代 8世紀 重要文化財 (第2部 第1章 展示)

### ◆ 展覧会概要

明治28(1895)年4月、帝国奈良博物館として開館して以来、127年の歴史を有する奈良国立博物館は、天平文化が花開いた平城京跡に近接する東大寺、興福寺、春日大社などに囲まれた奈良公園の一角にあります。同館は、特に仏教と関わりの深い古美術品や考古遺品などの保存、調査・研究、展示を通じて、優れた仏教美術の魅力とその背景にある豊かな歴史・文化を、長きにわたり多くの人々に伝えてきたわが国有数の博物館です。毎秋に開催される「正倉院展」の会場として、記憶されている方も多いことと思います。

そして、奈良国立博物館は日本の仏教美術の歴史を彩る名品を数多く収蔵し、国内外を問わず多くの展覧会に所蔵品を貸与し、我が国の文化を紹介する活動に寄与してきました。このような国内有数の博物館である奈良国立博物館ですが、意外にもその所蔵品を名品展として東京で公開したことはありませんでした。そこで、この度、その魅力を多くの方々に改めて知って頂く契機となればと考え、同館の数多くある所蔵品の中から、国宝《牛皮華鬘》、重要文化財《如意輪観音菩薩坐像》などを含む主として仏教に関する美術工芸品の一端、計83件を名品展という形で、ここ東京・渋谷で、ご紹介させて頂くことと致しました。

国内での移動にも不自由が生じている昨今の状況を鑑み、奈良にある名品を東京で鑑賞することで、本展覧会が皆様の心の癒しとなり、さらにわが国の仏教文化に対する関心を高める機会となれば幸いです。

### 土日祝日・最終週は日時指定予約制

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、土・日曜日、祝日及び5月24日(火)以降の最終週は「日時指定予約制」です。当館ホームページで日時指定予約をお願いします。お出かけの際は、最新の情報をご確認ください。

◆ 展覧会構成

第1部：日本の仏教の流れ

第1章 釈迦の美術

仏教は紀元前5世紀から4世紀のインドで釈迦によって始められました(釈迦の生没年については諸説ある)。釈迦が80歳で亡くなったのち、紀元後1世紀の仏像造立の開始時期までは、舍利が仏教の主要な礼拝対象でした。

②《首懸駄都種子曼荼羅厨子》  
木製 黒漆塗 彩絵 金銅装  
鎌倉時代 13~14世紀  
重要文化財【後期展示】



第2章 密教

密教は4世紀ごろよりインドの民間で行われていたまじない作法を取り入れて誕生しました。密教の仏を特徴付けるのが明王と呼ばれる忿怒の像で、多面多臂の異形の姿も多いです。



③《如意輪観音菩薩坐像》  
木造 古色(現状)  
平安時代 9~10世紀  
重要文化財



④《烏樞沙摩明王像》  
絹本着色 鎌倉時代  
14世紀【後期展示】

第3章 浄土信仰

浄土信仰の美術を特徴付ける作品に、阿弥陀如来や地藏菩薩が臨終を迎える者のもとに飛来する場面を描いた来迎図があります。また、鎌倉時代から南北朝時代にかけ、阿弥陀来迎図を刺繍で表した作品を見ることが出来ます。



⑤【後期展示】



⑥【前期展示】

⑤《地藏菩薩像》絹本着色 鎌倉時代 13世紀 重要文化財

⑥《刺繍種子阿弥陀三尊像》絹製 刺繍(一部に髪繡)

鎌倉時代 14世紀

第4章 神仏習合

飛鳥時代に日本に伝わった仏教は、日本固有の信仰である神道と共存する道を歩みました。平安時代後期になると、日本の神々は仏教の仏菩薩が人々を救済するために姿を変えて現れたとする本地垂迹説が生まれました。この場合、仏菩薩は本来の姿(本地)、神は仮の姿(垂迹)と見なされ、主要な神社の祭神にはそれぞれ本地仏が当てられました。



⑦

⑦《春日宮曼荼羅》絹本着色 鎌倉時代 13~14世紀【前期展示】



⑧

⑧《春日文殊曼荼羅》絹本着色 鎌倉時代 14世紀【後期展示】

第5章 絵巻

六道とは地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天の六つの世界のことです。平安時代後期より六道絵や地獄絵がしばしば描かれましたが、これは極楽往生への想いを強めることを期待したのでしょう。辟邪絵は悪鬼を退治する善神を描いたもので、六道絵の一種とする解釈があります。

⑨《辟邪絵 天刑星(部分)》  
紙本着色 平安~鎌倉時代  
12世紀 国宝【前期展示】



⑩《泣不動縁起(部分)》紙本着色 室町時代 15世紀

(前後期で場面替え有)

第2部 珠玉の名品たち — まほろばの国から

みほとけ

第1章 御仏と出会う — 仏像

仏像の種類には、出家前の王子の釈迦の姿にちなみ、宝冠、胸飾りなどを着けた貴人姿で表現された菩薩像【⑪】や袈裟をまとう出家後の僧の姿で表された如来像【①】、天界に住むインド古代の神々が仏教にとり入れられて護法神となった天部【⑬】などがあります。



⑪

⑪《観音菩薩立像》銅造 飛鳥時代 7世紀

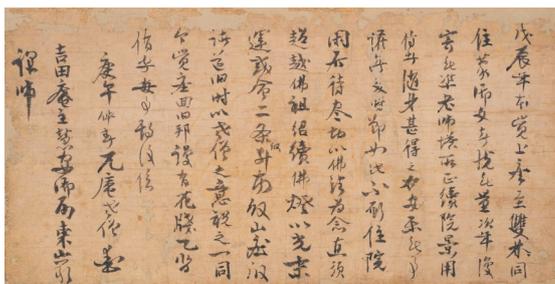


⑫

⑫《毘沙門天立像》木造 彩色・截金 鎌倉時代 13世紀

第2章 うるわしの書

第1部では日本の仏教における重要な宗派である禅宗に触れていないため、本章では禅僧の墨跡【⑬】によって禅宗美術の一端をご紹介します。禅僧の墨跡は師から弟子へ教えるための重要な手段でもあります。また、国家機関から発行された公文書【⑭】にも歴史の重みを感じます。



⑬《兀庵普寧墨跡 与東巖慧安尺牘》蠟燭墨書

中国・南宋時代 咸淳6年(1270) 重要文化財【4/26~5/8展示】



⑭《民部省符》紙本墨書 平安時代 延長4年(926) 重要文化財【後期展示】

すい  
第3章 仏教工芸の粋

インドでは仏教の信徒たちは釈迦や高僧に花輪、香、水などを捧げる習慣がありました。これが花輪をかたどった華鬘【⑮】を生み出しました。また、インドの行者は祈禱でベルを鳴らしますが、これが仏教に取り入れられ金剛鈴【⑯】になりました。本章では工芸技法が駆使され、美しく装飾された仏教工芸の優品を展示しています。仏の世界を飾ることで仏を喜ばせたいと願った人びとの想いが伝わってきます。



⑮

⑮《牛皮華鬘(登号)》牛皮 彩色 截金 平安時代 11世紀 国宝【前期展示】



⑯

⑯《四大明王五鈷鈴》銅製 鍍金 中国・唐時代 8世紀 重要文化財

◆会期中イベント

◎記念講演会「奈良国立博物館の仏教美術コレクション」

4月24日(日) 午後2時~午後3時30分 地下2階ホール

講師:岩井共二氏(奈良国立博物館 学芸部美術室長)

\*無料(要入館料)\*定員30名(申込先着順) \*事前申し込みが必要です。「奈良博展 講演会」係まで

\*はがき申込切は、4月14日(木)必着

◎雅楽演奏会「悠久の調べ~まほろばの国から」

5月15日(日) 午後2時~(約1時間15分) 地下2階ホール

出演者:笹本武志氏(雅楽演奏家)

\*無料(要入館料)\*定員15名(申込先着順) \*事前申し込みが必要です。「奈良博展 雅楽」係まで

\*はがき申込切は、5月6日(金)必着

○学芸員によるギャラリートーク

4月23日(日)、5月13日(金)、22日(日)

各日午後2時～(約30分)

\*無料(要入館料)\*事前申し込みの必要はありません

※会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

※本展会期中は、毎週金曜日の夜間開館及び館内建築ツアーは中止します。

◎イベント事前申込◎

往復はがき、または当館ホームページの日時指定予約サイトにて、〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号、参加希望イベント名(「講演会」)または「雅楽」をご記入の上、各イベント係まで、1通につき1名まで申込可能。(各イベントの20日前から申込開始)迷惑メール等の受信制限をされている方は事前に @shoto-museum.jp ドメインより受信できるようにしてください。

◆開催概要

展覧会 SHIBUYAで仏教美術 - 奈良国立博物館コレクションより

Buddhist Art in SHIBUYA -Masterpieces from the Nara National Museum Collection

会期 2022年4月9日(土)～5月29日(日) 前期:4月9日(土)～5月8日(日) 後期:5月10日(火)～29日(日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 月曜日、5月6日(金)

入館料 一般1000円(800円)、大学生800円(640円)、  
高校生・60歳以上500円(400円)、小中学生100円(80円)

- \* ( )内は渋谷区民の入館料
- \* 土・日曜日、祝休日は小中学生無料
- \* 毎週金曜日は渋谷区民無料
- \* 障がい者及び付添の方1名は無料

主催 渋谷区立松濤美術館

特別協力 奈良国立博物館

会場 渋谷区立松濤美術館  
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14  
電話: 03-3465-9421  
<https://shoto-museum.jp>

交通案内

- 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分
  - JR・東京メロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分
- ※駐車場はございません。

◇次回展のご案内

「津田青楓 図案と、時代と、」

2022年6月18日(土)～8月14日(日)

土日祝日・最終週は日時指定制

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、土・日曜日、祝日及び5月24日(火)以降の最終週は「日時指定制」を予定しております。当館ホームページで日時指定予約をお願いします。お出かけの際は、最新の情報をご確認ください。

リピーター割引: 観覧日翌日以降の本展期間中、有料の入館券の半券と引き換えに、通常料金から2割引きでご入館できます。



報道関係のお問い合わせ

広報担当 西・木原・野城(pr-sma@shoto-museum.jp)

展覧会担当: 平塚(hiratsuka@shoto-museum.jp)  
野城(yashio@shoto-museum.jp)

電話: 03-3465-9421 FAX: 03-3460-6366

- \* 画像をご希望の場合は、作品名の前にある番号をお知らせください。チラシの画像もご使用いただけます。
- \* 画像の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 画像のご利用後、データは破棄してください。
- \* 基本情報確認のため、一度校正をお送りください。
- \* 掲載後、見本誌をご送付いたしますようお願いいたします。